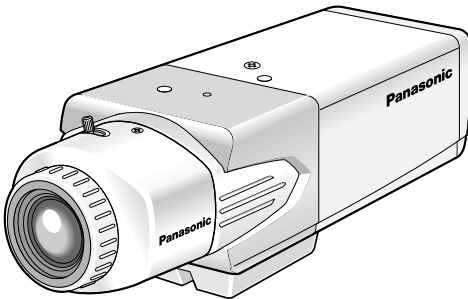


取扱説明書

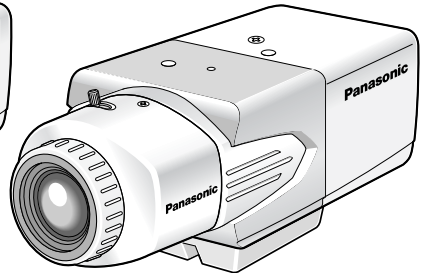
工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番 WV-CP480, WV-CP484



<WV-CP480>



<WV-CP484>

(レンズは別売りです)

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(6ページ~8ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機は1/3型CCDを搭載したカラーテレビカメラです。ビデオ受像機に接続し、監視カメラとして使用します。主な特長は次のとおりです。

スーパーダイナミックⅢ方式 (SUPER-DⅢ) を採用

CCD部および信号処理回路にスーパーダイナミック方式を採用し、通常のカメラと比較して、約128倍の高ダイナミックレンジを実現しています。明るい部分から暗い部分まで、照度差の激しい被写体も自然な映像で撮影できます。

オートバックフォーカス機能 (ABF) を搭載

本機の操作ボタンまたはSETUPメニューで、カメラ内のCCDを最適ポジションに移動することによって、自動的にバックフォーカス調節ができます。

設置完了後でも、システムコントローラー (別売品) を使用してSETUPメニューを操作し、調節することができます。

また、カラー映像と白黒映像の切り替え時、自動的にバックフォーカスを調節し、フォーカスずれを補正するよう設定することもできます。

ノイズリダクション機能を搭載し、高感度を実現

低ノイズ回路設計により、カラー映像時、最低0.6 lx (F1.4) を実現しています。

夜間白黒切り替え機能を搭載

低照度時、自動的に白黒映像へ切り替えることができ、夜間でもそのまま撮影できます。

モーションディテクター機能を搭載

監視中、モニター内に動きが生じた場合やカメラを布やふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを変えられたりした場合、アラーム信号を送出します。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

付属品をご確認ください

本機を使用する前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。
万一、不足している物がありましたら、お手数ですが、お買い上げの販売店にご連絡ください。

取扱説明書（本書） 1冊
保証書 1枚

以下の付属品は取り付け工事に使用します。

Cマウントアダプター 1個
電源ケーブル（WV-CP480のみ） 1本
ラグ端子（WV-CP484のみ） 3個

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
 - ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の破損など。
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害。
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
 - ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

もくじ

はじめに

取扱説明

はじめに

商品概要	2
個人情報の保護について	2
付属品をご確認ください	3
免責について	3
安全上のご注意	6
取り扱い上のお願ひ	9
各部の名前	10

設置・接続

工事説明

設置・接続

設置上のお願ひ	11
レンズを取り付ける	12
別売り専用レンズについて	12
ピントの合わせかた	12
バリフォーカルレンズ・ズームレンズの使いかた	13
固定焦点レンズの使いかた	13
ALCコネクターを取り付ける	14
設置する	15
接続する	16
同軸ケーブルを接続する	16
電源ケーブルを接続する	16
外部同期スイッチを設定する	17
外部端子について	17
バックフォーカスを調節する	18

設定

設定

SETUPメニューについて	19
SETUPメニュー一覧	19
基本的な操作のしかた	21

その他

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] .23

- ①カメラタイトルを設定する [CAMERA ID]23
- ②光量制御方式を設定する [ALC/ELC]25
- ③シャッター機能を設定する [SHUTTER]27
- ④ゲインの調節方法を設定する [AGC]28
- ⑤電子感度アップを設定する [SENS UP]28
- ⑥同期方式を設定する [SYNC]29
- ⑦ホワイトバランスの調節方法を設定する [WHITE BAL] ..33
- ⑧モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET]36
- ⑨デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR] ..39
- ⑩映像の解像度を設定する [RESOLUTION] 39
- ⑪白黒モードの各種設定を行う [BW MODE] 40
- ⑫プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE] ..42
- ⑬映像を左右反転表示する [MIRROR]43
- ⑭レンズの種類を設定する [LENS-DRIVE] ..43
- ⑮画揺れを補正する [STABILIZER]44

バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS]45

特別メニューの設定を行う [SPECIAL]47

- クロマレベル (色の濃さ) を調節する [CHROMA GAIN] ...47
- アパーチャーレベルを調節する [AP GAIN] ..47
- ペDESTALレベル (明るさ) を調節する [PEDESTAL] ..47
- クロマ位相レベル (色合い) を調節する [HUE]48
- 傷を補正する [PIX OFF]48
- 通信設定を行う [COMMUNICATION]49
- 工場出荷時の設定内容に戻す [CAMERA RESET]49
- シリアルナンバーを確認する [SER.NO.]49

言語を設定する [LANGUAGE] ...50


 その他

- 故障かな!?51
- 仕様53
- 保証とアフターサービス.....55

安全上のご注意

必ずお守りください

はじめに

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

警告

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

質量（重量）に耐える場 所に取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因になります。

- 取付場所を補強してください。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

- 点検は販売店にご依頼ください。

●WV-CP480のみ

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

警告

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

アースを確実に取り付ける



本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

- アース工事は販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格には含まれていません）

取り扱い上のお願ひ

屋内でのみ使用してください

長時間日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

長時間安定した性能でお使いいただくために

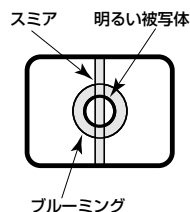
- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります（推奨温度+35℃以下）。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度+5℃～+35℃、湿度は90%以下の場所でお使いください（常時通電状態でお使いになる場合）。

CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

強い光にカメラを向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りかじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



取り扱いはていねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

お手入れは

お手入れは電源を切って行ってください。けがの原因になります。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

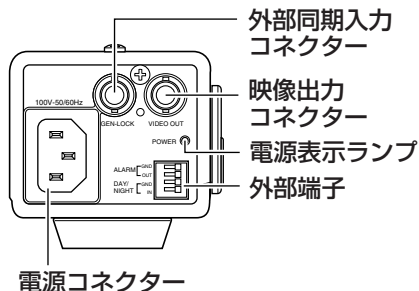
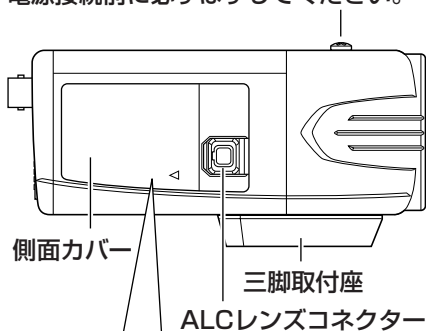
汚れがひどいときは

うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

各部の名前

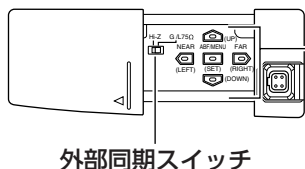
<WV-CP480>

輸送用ねじ
電源接続前に必ずはずしてください。



側面カバー内部

(ロックするまで左にスライドして開く)

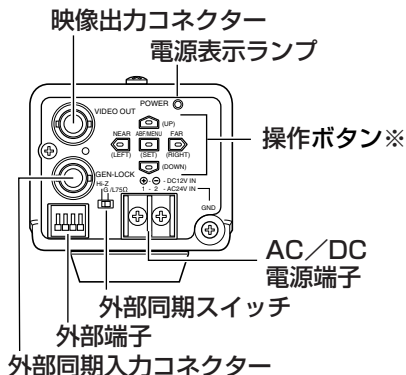
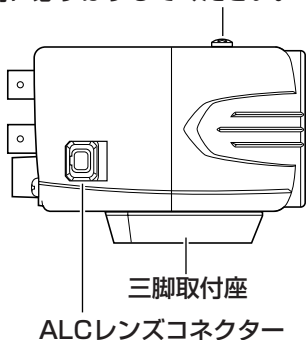


※本書は以下の名前で説明します。

- ⬆️: 上ボタン (UP)
- ⬇️: 下ボタン (DOWN)
- ⬅️: 左ボタン (LEFT)、NEAR
- ➡️: 右ボタン (RIGHT)、FAR
- ⊞: 設定ボタン (SET)、ABF/MENU

<WV-CP484>

輸送用ねじ
電源接続前に必ずはずしてください。




設置上のお願い

⚠警告 ⚠注意 に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機は屋内専用カメラです。屋外では使用できません。

アース(接地)について (WV-CP480)

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。

電源について (WV-CP480)

アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

電源ケーブルについて

電源ケーブルは確実に取り付けてください。また、カメラを旋回したときに電源ケーブルに加重がかからないように取り付けてください。（加重がかかると、電源ケーブルが外れ映像が映らなくなる原因になります。）

湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。

内部の部品がいたみやすくなり、故障の原因になります。

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。

故障の原因になります。

電波障害について

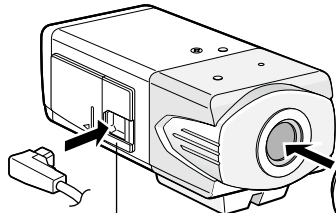
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界の近く（モーターやトランスなど）では、映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、専用の薄電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。

カメラケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください。

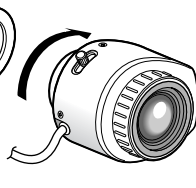
雑音の入る原因になります。

レンズを取り付ける

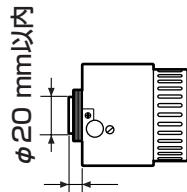
レンズをゆっくり時計方向に回して取り付け、レンズケーブルをカメラのALCレンズコネクタに接続します。



ALCレンズコネクタ



Cマウントアダプター (付属品)
※Cマウントレンズ使用時必要



Cマウント : 13 mm以下
CSマウント : 8 mm以下

別売り専用レンズについて

品名	品番
1/3型CCDテレビカメラ用 自動絞りレンズ	(固定焦点) 超広角 WV-LA2R8C3B
	(固定焦点) 広角 WV-LA4R5C3B
	(固定焦点) 標準 WV-LA9C3B
	2倍バリフォーカル WV-LZA61/2S
	8倍バリフォーカル WV-LZ62/8S
	15倍電動ズーム WV-LZ61/15

ピントの合わせかた

自動絞りレンズを使って被写体を写す場合、レンズ自体の焦点深度の関係で絞りの状態によっては、はじめに合わせたピントが若干ピンボケになることがあります。このようなときは、写真を撮る要領で被写体をできるだけ暗くして、絞りが開いた状態でピントを合わせると、ピンボケを防ぐことができます。SETUPメニュー「BACK-FOCUS」の「ABF」を使用すると(45ページ)、自動的に照度に変化しても追従できる最適条件でピントを合わせることができます(注:ある特定の明るさでの最適位置とは必ずしも一致しません)。

- 近赤外光領域では可視光領域に比べてピントが甘くなる場合があります。SETUPメニュー「BACK-FOCUS」の「C/L↔B/W」を「AUTO」または「PRESET」に設定すると、近赤外光領域と可視光領域の両方でピントを合わせることができます（フォーカス動作完了後の照明変化には対応していません）。

バリフォーカルレンズ・ズームレンズの使いかた

- 調節前は、いったんバックフォーカス位置をリセットして、CSマウントの標準位置に戻してください（操作ボタンの左ボタンと右ボタンを同時に押すか、SETUPメニュー「BACK-FOCUS」の「MANUAL-ADJ」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押した後、左ボタンと右ボタンを同時に押す）。
- バリフォーカルレンズ、ズームレンズは種類によって、調節方法が異なるので、注意が必要です。詳しくは使用するレンズの取扱説明書をお読みください。

メモ

- 一般的なバリフォーカルレンズの場合、以下の手順で調節します。詳しくは使用するレンズの取扱説明書をお読みください。
 1. バックフォーカス調節のため、なるべく遠い被写体を写します（10 m以上を推奨）。
 2. 8倍、10倍クラスのレンズの場合、ズームをWIDE端でフォーカスをFAR端にしてからカメラのバックフォーカスを調節します。
2倍、3倍クラスのレンズの場合、ズームをTELE端でフォーカスをFAR端にしてからカメラのバックフォーカスを調節します。
 3. 実際に写したい被写体が画面の中心にくるように、レンズのズーム・フォーカス調節で画角とフォーカスの粗調節を行った後、カメラのバックフォーカスを本調節（☞18、45ページ）してください。
- 弊社製以外のレンズを使用の場合で、レンズ焦点調節に拡張範囲を持っているレンズを使用した場合は、上記手順2でFAR端から位置を少し戻した状態でバックフォーカスを調節してください。拡張範囲内の位置で調節すると、適切な調節ができません。

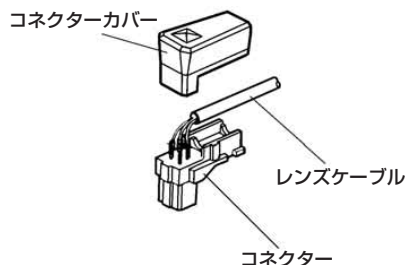
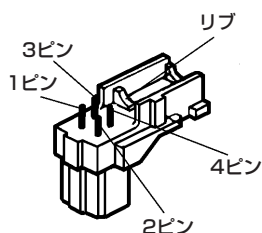
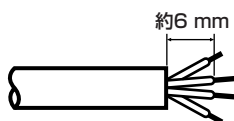
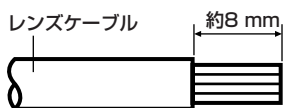
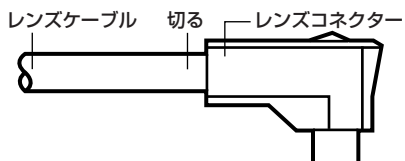
固定焦点レンズの使いかた

- フォーカス調節付きの固定焦点レンズはレンズのフォーカスをFAR端にしてから、バックフォーカスの調節を行ってください。

レンズを取り付ける (つづき)

ALCコネクタを取り付ける

コネクタの違う自動絞りレンズのときは、別売りのALCコネクタと付け替えてください。



STEP1

レンズケーブルを切り離します。

STEP2

レンズケーブルの切り口から約8 mmの所で外皮を切り取り、芯線の被覆部を約6 mm残して切り取ります。

STEP3

芯線を別売りのALCコネクタのピンに半田付けして固定します。

- 1ピン……赤 (電源)
- 2ピン……使用せず
- 3ピン……白 (映像)
- 4ピン……黒 (シールド)

STEP4

レンズケーブルがリブ部で固定されるように、コネクタにカバーを取り付けます。

設置する

以下はカメラ取付台（別売品）を使用した設置例です。

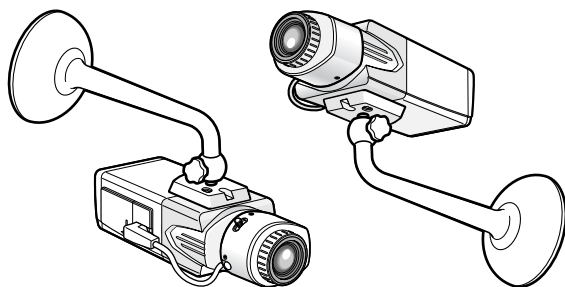
設置場所にカメラ取付台を固定し、カメラを取り付けます。

カメラ取付台の固定ねじは、取付場所の材質に合わせて調達してください。

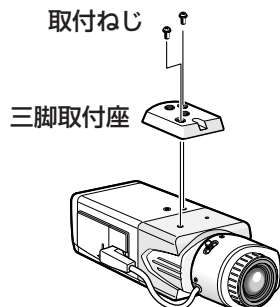
また、カメラ取付用ねじ穴（1/4-20UNCカメラ三脚用）を使って、三脚取付座をカメラの上部、下部に付け替えることにより、次のような取り付けができます。

三脚取付座の上下を付け替えるときは、外した取付ねじを使用してください。長さの違うねじを使用すると、落下や故障の原因になります。

＜壁面への取り付け例＞



＜三脚取付座の付け替え＞



お願い

- カメラの質量（重量）に十分耐えられる場所に取り付けてください。
- 取付場所の材質により、取り付けかたが異なります。カメラ取付台（別売り）の固定に木ねじは使用しないでください。

鋼材の場合 ： M6またはM8のボルトナットで固定。

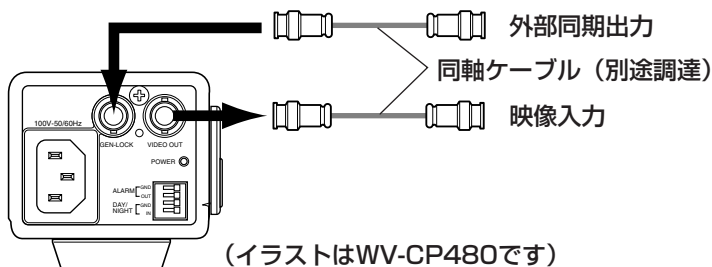
コンクリート壁の場合 ： M6またはM8のアンカーボルトまたは松下電工株式会社製のAYプラグボルトで固定。

接続する

接続を行うときは、各機器の電源を切った状態で行ってください。

同軸ケーブルを接続する

同軸ケーブル（別途調達）を映像出力コネクタに接続します。また、外部機器から同期信号を入力する場合は、外部同期入力コネクタに同軸ケーブルを接続します。

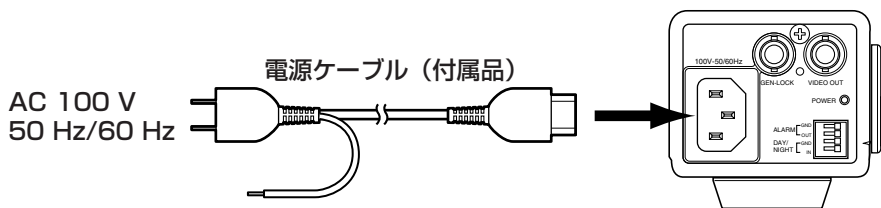


電源ケーブルを接続する

※電源ケーブルを接続する前に、必ず輸送用ねじをはずしてください。

WV-CP480

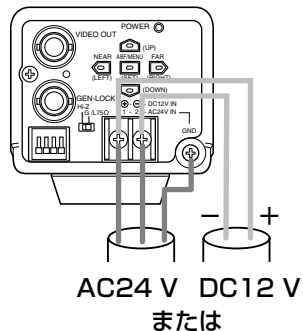
付属の電源ケーブルを後面の電源コネクタとACコンセントに差し込みます。



WV-CP484

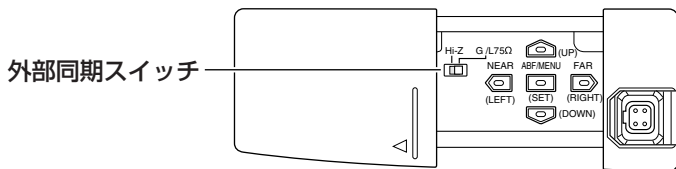
AC24 V電源またはDC12 V電源を選択し、AC/DC電源端子に接続します。

(ラグ端子3個付属)



外部同期スイッチを設定する

後面の外部同期入力コネクタに外部同期信号を入力し、ループスルーするときは、「Hi-Z」に設定します。終端するときには、「G/L 75 Ω」に設定します。通常は「G/L 75 Ω」に設定してください。



(イラストはWV-CP480です)

外部端子について

アラーム出力

：オープンコレクタ出力。

ドライブ能力16 VDC、

100 mA以下

OFF : オープン

ON : 100 mA以下

カラー／白黒入力

：5 V DC プルアップ入力、ドライブ

能力 0.2 mA以上

カラー : オープン

白黒 : ショート

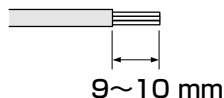
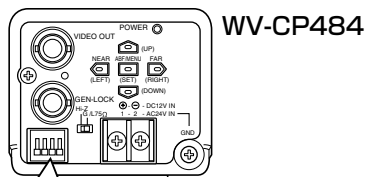
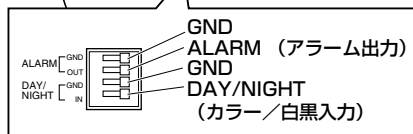
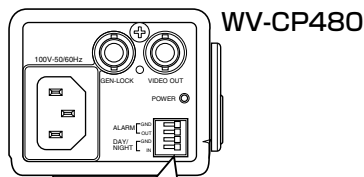
※カラー／白黒入力を有効にするときは、白黒切替「BW MODE」を「EXT」に設定してください (40ページ)。

※外部機器接続時は、定格を超えないように設置してください。

※使用可能線材：AWG22～AWG28

単線・より線

被覆部を9～10 mmむいて、挿入してください。



バックフォーカスを調節する

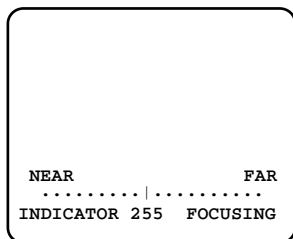
バックフォーカスを調節する前にレンズの調節を先に行います (13ページ)。
操作は操作ボタン (10ページ) で行います
バックフォーカスはSETUPメニューでも調節できます。操作方法、詳細説明は45ページをお読みください。

STEP1

ビデオ受像機の画面を見ながら、画角を合わせた後、設定ボタンを押します。

STEP2

画面下部にフォーカス位置表示が表示され、自動的にバックフォーカスが調節されます。



STEP3

バックフォーカスの自動調節が終了した後、さらにバックフォーカスを微調節する場合は左ボタンまたは右ボタンを押して調節します。

メモ

- 10秒以上何も操作しないと、フォーカス位置表示は自動的に消えます。
- 左ボタンと右ボタンを同時に押すと、バックフォーカス位置はCSマウン
トの標準位置になります。

SETUPメニューについて

本機を使用する場合、あらかじめSETUPメニューで各項目を設定しておく必要があります。撮影場所の条件に合わせて、各項目を設定します。本書では、SETUPメニューのLANGUAGE設定が日本語の場合で説明します。

SETUPメニュー一覧

設定項目	概要	ページ
CAMERA	カメラの動作に関する設定を行います。	
CAMERA ID	カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。	23
ALC/ELC	使用するレンズに合わせて、カメラに入る光量の制御方式を設定します。	25
SHUTTER	電子シャッターの速度を設定します。	27
AGC	ゲインの調節方法を設定します。	28
SENS UP	電子感度アップを設定します。	28
SYNC	同期方式を設定します。	29
WHITE BAL	ホワイトバランスの調節方法を設定します。	33
MOTION DET	モーションディテクター機能を設定します。	36
DNR	デジタルノイズリダクション機能を設定します。	39
RESOLUTION	映像の解像度を設定します。	39
BW MODE	カラー映像と白黒映像の切り替えなど、白黒モードに関する各種設定を行います。	40
PRIVACY ZONE	撮影場所の中の写したくない部分だけを表示しないよう設定します。	42
MIRROR	映像を左右反転表示します。	43

SETUPメニューについて（つづき）

設定項目	概要	ページ
LENS-DRIVE	取り付けるレンズに合わせて駆動方式を設定します。	43
STABILIZER	カメラの画揺れ補正を行うかどうかを設定します。	44
BACK-FOCUS	バックフォーカスの調節方法の設定と微調節を行います。	45
SPECIAL		
CHROMA GAIN	クロマレベル（色の濃さ）を調節します。	47
AP GAIN	アパーチャーレベルを調節します。	47
PEDESTAL	ペDESTALレベル（明るさ）を調節します。	47
HUE	クロマ位相レベル（色合い）を調節します。	48
PIX OFF	傷を補正します。	48
COMMUNICATION	レシーバーを使用したシステム構成で本機を使用する場合に必要な通信設定を行います。	49
CAMERA RESET	SETUPメニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻します。	49
SER.NO.	本機のシリアルナンバーを確認します。	49
LANGUAGE	SETUPメニューの言語を設定します。	50

基本的な操作のしかた

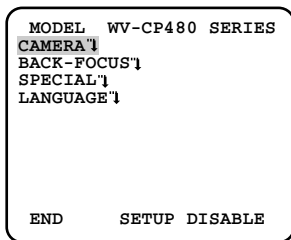
SETUPメニューの基本的な操作のしかたを説明します。

SETUPメニューの操作は、接続しているビデオ受像機にSETUPメニューを表示して、操作ボタン (☞10ページ) で行います。

システムコントローラー (別売品) から行うこともできます。

画面1

設定ボタンを約2秒間押し続け、SETUPメニューのトップ画面を表示します。



STEP1

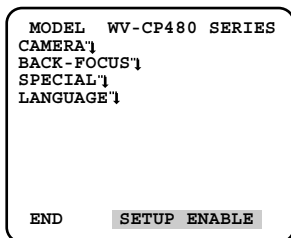
上ボタンまたは下ボタンを押して、カーソルを「END」に合わせます。

STEP2

右ボタンを押して「SETUP」にカーソルを合わせ設定ボタンを押し、設定モードを「DISABLE」→「ENABLE」に切り替えます。

画面2

設定モードが「ENABLE」に切り替わり、SETUPメニューが設定できる状態になります。



STEP3

設定したいSETUPメニューにカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

(次ページへ続く)

SETUPメニューについて (つづき)

画面3

選択したSETUPメニューの設定画面が表示されます。

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID   OFF ↴
ALC/ELC     ALC ↴
SHUTTER     OFF
AGC         ON (HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC        INT
WHITE BAL   ATW1 ↴
MOTION DET  OFF
DNR         HIGH
RESOLUTION  HIGH
BW MODE ↴
```

```
**CAMERA SETUP** 2/2
PRIVACY ZONE OFF
MIRROR       OFF
LENS-DRIVE   DC
STABILIZER   OFF

RET  TOP  END
```

メモ

- 本機では誤操作を防止するため、カメラ映像からSETUPメニューのトップ画面を表示すると、必ず設定モードが「DISABLE」になっています。操作するときは「ENABLE」に切り替えてください。
- カーソルとは設定項目が反転表示している部分をいいます。

STEP4

各設定項目を設定します。

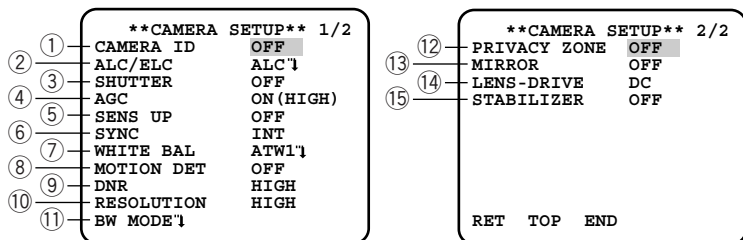
- 設定項目の選択：
上ボタンまたは下ボタンを押してカーソルを移動します。
- 設定内容の切り替え：
左ボタンまたは右ボタンを押します。
- 設定項目の詳細設定画面を表示：
「↴」が表示されている設定項目で設定ボタンを押します。
- 前の設定画面に戻る：
「RET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
- トップ画面に戻る：
「TOP」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

STEP5

カメラ映像の画面に戻るときは、「END」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP]

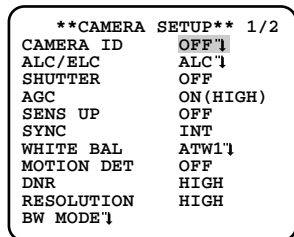
カメラの動作に関する設定を行います。トップ画面から「CAMERA SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは21、22ページをお読みください。



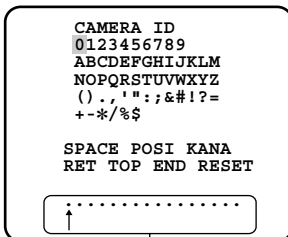
①カメラタイトルを設定する [CAMERA ID]

カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。カメラタイトルは最大16文字まで設定できます。以下の手順に従って、カメラタイトルを設定します。

「CAMERA SETUP」画面

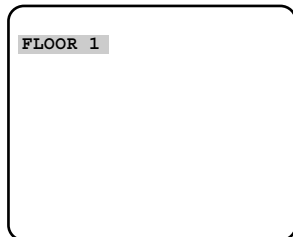


タイトル作成画面



入力領域

表示位置設定画面



STEP1

「CAMERA ID」を「ON」に設定し、設定ボタンを押します。

→タイトル作成画面が表示されます。

(次ページへ続く)

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

STEP2

上/下/左/右ボタンで表示したい文字にカーソルを合わせ、設定ボタンを押して文字を入力します。

→入力した文字は入力領域に表示されます。

STEP4

上/下/左/右ボタンでタイトルを表示する位置を決め、設定ボタンを押します。

→カメラタイトルと表示位置が設定されます。

<文字入力について>

- 文字を修正したいときは、カーソルを入力領域の矢印(↑)に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、カーソル(↑)を変更したい文字に合わせ再入力します。
- 空白スペースを挿入したいときは、「SPACE」にカーソルを合わせ設定ボタンを押します。
- 入力した文字をすべて消去したいときは、「RESET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
- カタカナを入力したいときは、「KANJI」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押し、カタカナ入力画面を表示します。

STEP3

タイトルを入力したら、「TITLE」にカーソルを合わせ設定ボタンを押します。

→表示位置設定画面が表示されます。

②光量制御方式を設定する [ALC／ELC]

使用するレンズに合わせて、カメラに入る光量の制御方式を以下から設定します。

ALC（工場出荷時）：被写体の明るさに応じて、自動でレンズの絞りを調節します。SUPER-DⅢ機能を使用するときや自動絞りレンズ（ALCレンズ）を使用するときは、この設定にします。SUPER-DⅢの設定を行う場合は、以下をお読みください。

ELC：設定した値にレンズの絞りを固定します。固定絞りレンズや手動絞りレンズを使用するときは、この設定にします。

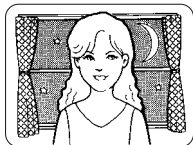
SUPER-DⅢ（スーパーダイナミック機能）について

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまう。逆に暗い部分にレンズの絞りを合わせると、明るい部分が見えなくなってしまう。

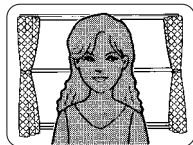
この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミック機能といいます。

[SUPER-DⅢ機能を働かせない場合]

夜間

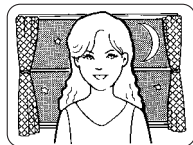


日中

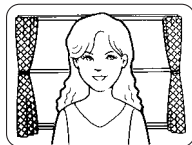


[SUPER-DⅢ機能を働かせた場合]

夜間



日中



SUPER-DⅢを設定する

SUPER-DⅢ機能の「ON」／「OFF」を設定します。

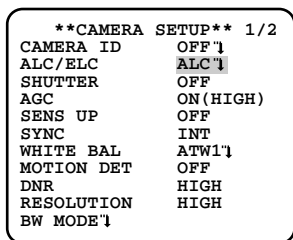
「OFF」に設定した場合、映像の明るい部分にマスクをかける設定が必要になります。また、「ON」／「OFF」のどちらに設定した場合でも、映像の出力レベル（映像のコントラスト）を調節する必要があります。

次ページの手順に従って操作します。

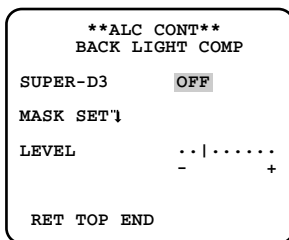
（次ページへ続く）

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

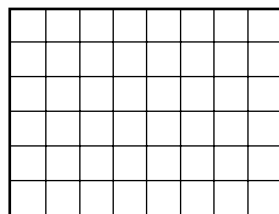
「CAMERA SETUP」画面



「ALC CONT」画面



マスク設定画面



STEP1

「ALC/ELC」を「ALC」に設定し、設定ボタンを押します。

→「ALC CONT」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「SUPER-D3」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンで「ON」／「OFF」を設定します。

ON (工場出荷時)

：常にSUPER-DⅢ機能を働かせます。(→STEP6へ)

OFF：SUPER-DⅢ機能を停止します。(→STEP3へ)

STEP3

カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押します。

→マスク設定画面が表示されます。

STEP4

映像の明るい部分にマスクをかけます。上／下／左／右ボタンを押して、

マスクをかけたい区画に点滅表示を合わせ、設定ボタンを押します。マスクがかかると、区画が横縞と白の交互表示になります。点滅表示を他の区画に移動すると白く表示されます。マスクをかけたい区画に上記の操作を行います。

<マスクの設定を取り消したいときは>

取り消したい区画に点滅表示を合わせ設定ボタンを押します。

すべてのマスク設定を取り消す場合、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。

STEP5

マスクの設定が完了したら、設定ボタンを約2秒以上押し続けます。

→「ALC CONT」画面に戻ります。

STEP6

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでレベルを調節します。

メモ

- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定すると、以下の設定項目の設定内容が制限されます。
SHUTTER : OFF、1/100のみ設定可能
SENS UP : OFF、AUTOのみ設定可能
- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定すると、明るい部分と暗い部分との境界に影（黒い線）が表示されることがありますが、故障ではありません。
- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定した場合は、「LEVEL」を少し上げ気味に設定すると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像（ちらつき）やノイズなどが多くなる場合があります。
- 照明の条件によって以下のような現象がみられるときは、「OFF」に設定してください。
 - (1) 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - (2) 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

③シャッター機能を設定する [SHUTTER]

電子シャッターのスピードを変えると以下のことができます。

- スピードを速くする（～1/10 000）と、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- 50 Hzの蛍光灯照明下などでフリッカ（ちらつき）が発生するときには、1/100に設定することによってフリッカを軽減できます。

電子シャッターのスピードを以下から設定します。SUPER-DⅢ機能の設定によって、設定できる値が異なります。

SUPER-DⅢ機能を「OFF」に設定しているとき

: OFF (1/60) (工場出荷時)、1/100、1/250、1/500、
1/1 000、1/2 000、1/4 000、1/10 000

SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定しているとき

: OFF (1/60)、1/100

メモ

- 「ALC/ELC」(☞25ページ)を「ELC」に設定している場合、シャッター機能は使用できません。「OFF (1/60)」の設定になります。
- シャッタースピードを速くすると感度が落ちます。また、明るい光源などではスミア(☞9ページ)などがでやすくなります。

④ゲインの調節方法を設定する [AGC]

ゲイン調節方法を以下から設定します。

ON (HIGH) (工場出荷時) / ON (MID) / ON (LOW)

：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。

() 内のHIGH/MID/LOWはゲインのレベルになります。

OFF：ゲインを上げません。

⑤電子感度アップを設定する [SENS UP]

電子感度アップ機能を使用すると、CCDに蓄積する光量を増大させ、映像を明るくできます。FIXでは倍率は固定となり、AUTOでは被写体の照度に応じて、自動的に倍率が変化します。電子感度の倍率は以下から設定します。

SUPER-DⅢ機能の設定によって、設定できる値が異なります。

SUPER-DⅢ機能を「OFF」に設定しているとき

：OFF (工場出荷時) / X2 AUTO / X4 AUTO / X6 AUTO / X10 AUTO /
OFF / X2 FIX / X4 FIX / X6 FIX / X10 FIX / X16 FIX / X32 FIX

SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定しているとき

：OFF (工場出荷時) / X2 AUTO / X4 AUTO / X6 AUTO / X10 AUTO

メモ

- 「SHUTTER」を「1/100」に設定している場合、または「ALC / ELC」を「ELC」に設定している場合、AUTOモードのみが動作します。また、「SHUTTER」を「1/100」で使用するとき、最初に「SHUTTER」を設定してから電子感度の倍率を設定してください。
- 「SENS UP」を「AUTO」に設定し、SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定している場合、電子感度アップの動作中はSUPER-DⅢ機能の効果が得られません。
- 電子感度の倍率を上げると、画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。
- 「SENS UP」を「OFF」「X2 AUTO」「X2 FIX」以外の設定で使用する場合、バックフォーカスは「MANUAL-ADJ」および「C/L ↔ B/W」の「FIX」または「PRESET」に設定してください。「ABF」および「C/L ↔ B/W」の「AUTO」は使用できません。
- システムコントローラーWV-CU254 / CU300 / CU354 (別売品) を使用し、SUPER-DⅢを「ON」に設定しているときは、システムコントローラー側から「SENS UP」を設定することはできません。本機の操作ボタンで設定してください。

⑥同期方式を設定する [SYNC]

本機は以下の5種類の同期方式に対応しており、いずれかを設定します。
記載順序は同期方式の優先順位を示しています。

- (1) 多重化垂直ドライブ信号 (VD2)
- (2) 電源同期 (LL) ※電源周波数を元に同期を合わせます。
- (3) 複合カラー映像信号またはブラックバースト信号 (VBS)
- (4) モノクロ複合映像信号または複合同期信号 (VS)
- (5) 内部同期 (INT) (工場出荷時)

多重化垂直ドライブ信号 (VD2) が入力された場合は、カメラが他の同期方式に設定してある場合でも、自動的にVD2同期に切り替わります。

また、入力される同期信号によって、設定項目の表示は以下のようになります。

電源周波数 [Hz]	入力されている同期信号			メニュー表示
	VD2	VBS	VS	
50/60	○	○	×	VD2
	○	×	○	
	○	×	×	
60	-	○	×	VBS↔LL※1,※2
	-	×	○	VS↔LL※1,※2
	-	×	×	INT↔LL※1,※2
50	-	○	×	VBS※2
	-	×	○	VS※2
	-	×	×	INT

※1：左ボタンまたは右ボタンで切り替え可能です。

※2：LL、VBS、VSで使用する場合、電源同期位相、ゲンロック水平／副搬送波位相などの設定ができます。(P.30～33ページ)

メモ

- 設定できる同期方式は、電源周波数が50 Hz地域と60 Hz地域で異なります。
- 電源同期 (LL) の設定は60 Hz地域の場合のみ変更できます。
50 Hz地域の場合は設定できません。
- 「INT」で使用するときには、後面の外部同期入力コネクタに同期信号を入力しないでください。

VBSゲンロックモード (VBS) の位相を調節する

調節するカメラの映像信号と基準となる外部同期入力信号を二入力オシロスコープに接続し、位相を調節します。以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

CAMERA SETUP 1/2	
CAMERA ID	OFF 1
ALC/ELC	ALC 1
SHUTTER	OFF
AGC	ON(HIGH)
SENS UP	OFF
SYNC	INT
WHITE BAL	ATW 1
MOTION DET	OFF
DNR	HIGH
RESOLUTION	HIGH
BW MODE 1	

「SYNC」画面

SYNC	
H PHASE
	- +
SC COARSE	1 (1--4)
SC FINE
	- +
RET TOP END	

STEP1

「SYNC」を「INT」に設定し、設定ボタンを押します。

STEP2

VBS信号を後面の外部同期入力コネクタに入力します。
→ 「SYNC」の設定が「EXT (VBS)」に自動的に切り替わります。

STEP3

カーソルを「EXT (VBS)」に合わせて設定ボタンを押します。
→ 「SYNC」画面が表示されます。

STEP4

カメラの映像出力信号と外部同期入力信号を二入力オシロスコープに接

続し、カーソルを「H PHASE」に合わせます。

STEP5

オシロスコープを水平レートにセットし、オシロスコープの水平同期部を拡大します。
左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、水平位相を調節します。
0～-2.0 μ sの範囲で調節できます。

STEP6

カーソルを「SC COARSE」(副搬送波粗調節)に合わせて、左ボタンまたは右ボタンで特殊効果装置 (SEG) の効果出力信号 (プログラム出力映像信号) の色が実際の被写体の色に近い色になるように次の4段階で調節します。

1 (1--4) : 0° / 1 (1--4) :
90° / 1 (1--4) : 180° / 1
(1--4) : 270°

STEP7

カーソルを「SC FINE」（副搬送波微調節）に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、プログラム出力映像信号の色が実際の被写体の色に近い色になるように調節します。

メモ

- カーソルは右端の「+」の位置までくると、左端の「-」に移動します。同時に「SC COARSE」の設定値が1つ進み、調節を継続できます。
- 左ボタンまたは右ボタンを1秒以上押し続けると、カーソルの移動速度が速くなります。
- 精度の高い調節をするには、カメラからの映像信号とプログラム出力信号をベクトル色度数指し器に入力して、両方の信号のクロマ位相を比較してください。

VSゲンロックモード (VS) の位相を調節する

調節するカメラの映像信号と基準となる外部同期入力信号を二入力オシロスコープに接続し、位相を調節します。以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```

**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID   OFF↓
ALC/ELC     ALC↓
SHUTTER     OFF
AGC         ON(HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC        INT
WHITE BAL   ATW1↓
MOTION DET  OFF
DNR         HIGH
RESOLUTION  HIGH
BW MODE↓

```

「SYNC」画面

```

**SYNC**
H PHASE     .....|
             -      +
RET TOP END

```

STEP1

「SYNC」を「INT」に設定し、設定ボタンを押します。

STEP2

VS信号を後面の外部同期入力コネクターに入力します。

→ 「SYNC」の設定が「EXT (VS)」に自動的に切り替わります。

(次ページへ続く)

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

STEP3

カーソルを「EXT (VS)」に合わせて設定ボタンを押します。
→ 「SYNC」画面が表示されます。

STEP4

カメラの映像出力信号と外部同期入力信号を二入力オシロスコープに接続し、カーソルを「H PHASE」に合わせます。

STEP5

オシロスコープを水平レートにセットし、オシロスコープの水平同期部を拡大します。
左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、水平位相を調節します。
0～-2.0 μ sの範囲で調節できます。

電源同期モード (LL) の位相を調節する

調節するカメラの映像信号と基準となる外部同期入力信号を二入力オシロスコープに接続し、位相を調節します。

メモ

カメラを動かしたり、交流ラインにスパイクノイズがあると、垂直位相が変化する場合があります。そのときは再調節してください。

次ページの手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID      OFF 1
ALC/ELC        ALC 1
SHUTTER        OFF
AGC             ON(HIGH)
SENS UP        OFF
SYNC           INT
WHITE BAL      ATW1 1
MOTION DET     OFF
DNR            HIGH
RESOLUTION     HIGH
BW MODE 1
```

「SYNC」画面

```
**SYNC**
V PHASE
COARSE         1(1--16)
FINE           .....|
               -      +
RET TOP END
```


STEP1

「SYNC」を「LL」に設定し、設定ボタンを押します。
→「SYNC」画面が表示されます。

STEP2

カメラの映像出力信号と外部同期入力信号を二入力オシロスコープに接続し、カーソルを「COARSE」に合わせます。

STEP3

オシロスコープを垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大します。

左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、垂直位相を調節します。

22.5° ずつ16段階で調節できます。

1 (1--16) : 0° / 2 (1--16) : 22.5° / . . . / 16 (1--16) : 337.5

STEP4

カーソルを「FINE」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、両方の垂直位相を調節します。

⑦ ホワイトバランスの調節方法を設定する [WHITE BAL]

ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。

ATW1 (工場出荷時)

：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。自動設定した後、手動で微調節することもできます (35ページ)。

動作範囲は約2 700 K~6 000 Kです。以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。

- ・被写体の大部分が濃い色
- ・光源が抜けるような青空や夕暮れ時の太陽
- ・被写体を照らす照度が暗い

ATW2 : ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調節します。

動作範囲は約2 000 K~6 000 Kです。

(次ページへ続く)

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

AWC : 自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。「AWC」に設定した場合、ホワイトバランスを調節するための操作を行う必要があります。

「AWC」に設定した場合、以下の手順に従ってホワイトバランスを調節します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID   OFF ↵
ALC/ELC    ALC ↵
SHUTTER     OFF
AGC         ON(HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC        INT
WHITE BAL   AWC ↵
MOTION DET  OFF
DNR         HIGH
RESOLUTION  HIGH
BW MODE ↵
```

STEP1

「WHITE BAL」を「AWC」に設定し、左ボタンを押して、「AWC→PUSH SW」に切り替えます。

STEP2

設定ボタンを押してホワイトバランスを調節します。

調節中は「PUSH SW」が反転表示します。反転表示が元に戻ったらホワイトバランスの調節は終了です。

STEP3

右ボタンを押して、「AWC」に設定します。

ホワイトバランスを微調節する場合は、次ページをお読みください。

メモ

動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。この補正範囲から外れていたり、被写体を照らす照明が暗いときは、ホワイトバランスが完全に調節できないことがあります。このとき、「PUSH SW」の表示は反転表示のままになります。

ホワイトバランスを微調節する

自動色温度追尾モード (ATW)、自動ホワイトバランスコントロールモード (AWC) でホワイトバランスを自動調節した後に、手でホワイトバランスを微調節します。

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```

**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID   OFF↓
ALC/ELC     ALC↓
SHUTTER      OFF
AGC          ON(HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC        INT
WHITE BAL    ATW1↓
MOTION DET  OFF
DNR         HIGH
RESOLUTION  HIGH
BW MODE↓

```

微調節画面

```

**ATW1**
R          .....
           -      +
B          .....
           -      +

RET TOP END

```

STEP1

「WHITE BAL」を「ATW1」、
「ATW2」または「AWC」に設定し、
設定ボタンを押します。

→微調節画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「R」、「B」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、レベルを微調節します。「R」は赤色、「B」は青色をあらわし、「+」方向に動かすと色が濃く、「-」方向に動かすと色が薄くなります。

⑧ モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET]

モーションディテクター機能を設定します。MODE1とMODE2のどちらかを選択します。MODE1に設定した場合、検出感度レベルや検出範囲の設定など詳細設定が必要になります。また、デモモードを使って検出範囲の設定や確認を行うこともできます。

MODE1 : 動きを検出したときにアラーム信号を送出します。

MODE2 : カメラを覆い隠されたり、向きを変えられたりしたことを検出し、アラーム信号を送出します。

OFF (工場出荷時) : モーションディテクター機能を設定しません。

モーションディテクター機能 (MODE1) について

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識し、撮影場所の映像に変化(動き)が生じたときにアラーム信号を送出します。

この機能を使うことによって、アラームが発生したときに、録画機器などにカメラの映像を録画することができます。

検出条件

被写体の大きさ : 動く物体は1/48以上の大きさが必要です。

被写体のコントラスト : 背景映像と動く物体のコントラスト比が5% (最大感度設定時) 以上が必要です。

被写体の動く速さ : 画面の端から端までを物体が通過する時間が0.8秒以上必要 (コントラスト比5%の場合) です。これより速い物体は検出できません。

メモ

被写体の大きさや動く速さの制限は、コントラスト比 (明暗の差) が大きいと緩和されます。

デモモードについて

48分割した各ブロックの輝度変化を検出し、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。

デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調節や検出範囲の設定を繰り返して、最適な状態にします。

モーションディテクター機能 (MODE2) について

カメラを布やふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを大きく変えられるなどして被写体が増えた場合にアラーム信号を送出します。

重要

- 以下の場合、検出できない可能性があります。
 - ・ 画面の一部しか覆い隠されていない場合や、覆いが透けている場合
 - ・ カメラの向きを変えられる前と後との被写体が似ている場合
- また、以下のような場合、誤検出する可能性があります。
 - ・ 照明のON/OFFなど明るさの変化が大きい場合
 - ・ 人や車などの交通量が多い場合

モーションディテクター機能 (MODE1) の詳細設定を行う

モーションディテクター (MODE1) の感度レベルや検出範囲などを設定します。マスク設定を行う場合、画揺れ補正「STABILIZER」を「OFF」に設定してください。(☞44ページ)

「CAMERA SETUP」画面

```

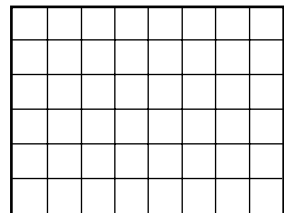
**CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID   OFF↓
ALC/ELC     ALC↓
SHUTTER      OFF
AGC          ON(HIGH)
SENS UP     OFF
SYNC         INT
WHITE BAL    ATW1↓
MOTION DET   OFF
DNR          HIGH
RESOLUTION   HIGH
BW MODE↓
  
```

「MODE1」画面

```

**MODE1**
LEVEL        ..... |
              -      +
DWELL TIME   2S
DISPLAY MODE↓
ALARM        OFF
MASK SET↓
RET TOP END
  
```

マスク設定画面



STEP1

「MOTION DET」を「MODE1」に設定し、設定ボタンを押します。

→ 「MODE1」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ マスク設定画面が表示されます。

(次ページへ続く)

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

STEP3

マスクをかけます。操作手順は SUPER-DⅢ機能を設定する場合のマスクの設定しかたと同じです。26ページをお読みください。

STEP4

マスクの設定が完了したら、設定ボタンを約2秒以上押し続けます。
→「MODE1」画面に戻ります。

STEP5

カーソルを「ALARM」に合わせ、デモモード時にアラーム信号を送出するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。

ON：デモモード時にアラーム信号を出し、動きを感知したときの動作をデモモードで確認できます。

OFF（工場出荷時）
：デモモード時にアラーム信号を出力しません。

STEP6

カーソルを「DISPLAY MODE」に合わせ、設定ボタンを押します。
→デモモードが実行され、輝度変化を検出したブロックが点滅表示されます。

STEP7

設定ボタンを押します。
→デモモードが終了し、「MODE1」画面に戻ります。

STEP8

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して検出感度レベルを調節します。「+」方向に動かすと感度が上がり、「-」方向に動かすと感度が下がります。
STEP6～8を繰り返して、最適なレベルに設定します。

STEP9

カーソルを「DWELL TIME」に合わせ、アラーム検出の間引き時間を以下から設定します。
2S（工場出荷時）／5S／10S／30S（S：秒）
アラームの間引き時間を設定すると、アラーム検出後、設定時間が経過するまでは次のアラームが検出されなくなります。

重要

- 風に揺れるカーテンなどを検出する場合は、マスク設定により検出エリアから除外してください。
 - 低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度（LEVEL）を下げてください。また、車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより被写体の照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
 - 本機で映像の変化（動き）を検出してから、VTRなどのアラーム端子に信号が送られるまでに約0.2秒の遅れがあります。また、設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません。（ただし、デモモードで「ALARM」をONにしているときは除きます）
 - モーションディテクター機能を「ON」にすると、ブランキング期間にアラームデータを出力するため、VTRのタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信をしないときは、モーションディテクター機能を「OFF」にしてください。
 - モーションディテクター機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。
-

⑨デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR]

デジタルノイズリダクション機能を設定すると、低照度で自動的にノイズを低減します。ここではノイズリダクション効果のレベルを設定します。

LOW : ノイズ低減効果小（残像小）

HIGH（工場出荷時） : ノイズ低減効果大（残像大）

⑩映像の解像度を設定する [RESOLUTION]

カメラ映像の解像度を以下から設定します。

NORMAL : 水平解像度を480TV本以上に設定します。

HIGH（工場出荷時） : 水平解像度を540TV本typ.に設定します。

メモ

「HIGH」に設定した場合、低照度で電子感度アップ機能「SENS UP」が動作すると、ノイズが増える場合があります。

⑪ 白黒モードの各種設定を行う [BW MODE]

白黒モードに関する各種設定を行います。

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

CAMERA SETUP 1/2	
CAMERA ID	OFF 1
ALC/ELC	ALC 1
SHUTTER	OFF
AGC	ON (HIGH)
SENS UP	OFF
SYNC	INT
WHITE BAL	ATW1 1
MOTION DET	OFF
DNR	HIGH
RESOLUTION	HIGH
BW MODE 1	

「BW MODE」画面

BW MODE	
BW	OFF
BURST (BW)	ON
RET TOP END	

「BW MODE」画面

BW MODE	
BW	AUTO1
LEVEL	HIGH
DURATION TIME	S L
BURST (BW)	ON
RET TOP END	

STEP1

「BW MODE」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「BW MODE」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「BW」に合わせ、画面の白黒制御を以下から設定します。

AUTO1：画面の明るさ（照度）により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り替えます。暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像になります。

AUTO2：夜間時に近赤外線的光源を使用する場合設定しません。

EXT：外部端子のDAY/NIGHT INをショートすることで白黒映像に切り替わります。

ON：白黒映像を表示します。

OFF（工場出荷時）：カラー映像を表示します。

メモ

光源の判断は、CCD撮像素子の情報により簡易的に判断しているため、たえず動いている被写体や全画面が一定の色の場合にはうまく判断できない場合があります。「AUTO2」に設定している場合、光源は波長が800 nm以上のものを使用してください。

STEP3

カーソルを「LEVEL」に合わせ、カラー映像と白黒映像を切り替える明るさ（照度）のレベルを以下から設定します。

LOW : カメラの周囲の明るさ（照度）が約1 lx以下で白黒映像に切り替えます。

HIGH（工場出荷時）
: カメラの周囲の明るさ（照度）が約5 lx以下で白黒映像に切り替えます。

STEP4

カーソルを「DURATION TIME」に合わせ、カラー映像と白黒映像を切り替えるまでの時間を以下から設定します。（工場出荷時：30秒）


10秒－30秒－60秒－300秒
(S) (L)

STEP5

カーソルを「BURST (BW)」に合わせ、白黒映像時にバースト信号を出力するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。

ON（工場出荷時）
: バースト信号を出力します。
OFF : バースト信号を出力しません。

メモ

- カラー映像と白黒映像の切り替え時、自動的にバックフォーカスを調節し、フォーカスずれを補正するよう設定することもできます。（ 45ページ）
- カメラ映像を白黒で表示する場合、モニターやVTRの種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない機器があります。このような機器を使用するときは「ON」に設定します。

⑫ プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE]

撮影場所 (画面) の中に写したくない部分がある場合、その部分 (プライバシーゾーン) だけを表示しないように設定します。

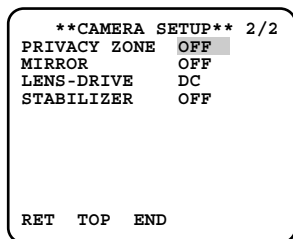
- ON (1) : 灰色表示
- ON (2) : モザイク表示
- OFF (工場出荷時) : 通常表示

プライバシーゾーンは8カ所まで設定できます。以下の手順に従って操作します。

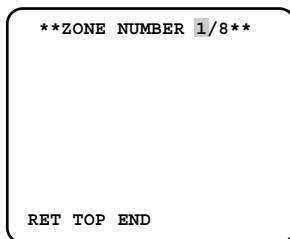
メモ

電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーンは働きません。

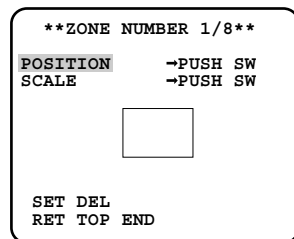
「CAMERA SETUP」画面



ゾーン番号選択画面



ゾーン設定画面



STEP1

「PRIVACY ZONE」にカーソルを合わせ、「ON (1)」または「ON (2)」に設定し、設定ボタンを押します。
→ゾーン番号選択画面が表示されます。

STEP2

カーソルが「ZONE NUMBER」右にある「1/8」の「1」にあることを確認し、左ボタンまたは右ボタンを押して、設定したいゾーン番号を設定します。ゾーン番号の右に「*」印がある

場合、そのゾーン番号にはすでにプライバシーゾーンが設定されていることをあらわしています。

STEP3

ゾーン番号を設定したら、設定ボタンを押します。
→ゾーン設定画面が表示されます。

メモ

- STEP3ですでに設定済みのゾーン番号を選択した場合、ゾーン設定画面のゾーン枠内に設定されているゾーンの映像が表示さ

れます。STEP4、5の操作を行うと、設定されているゾーンは消去され、新しいゾーンが設定されます。

- ゾーンの設定を解除したい場合は「DEL」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。ゾーンの設定が解除されます。

STEP4

カーソルを「POSITION」に合わせ、設定ボタンを押します。

STEP5

上／下／左／右ボタンを押して、ゾーン位置を設定したい場所に調節し、設定ボタンを押します。
→ゾーン位置が決定します。

STEP6

カーソルを「SCALE」に合わせ、上／下／左／右ボタンを押して、ゾーン枠の大きさを設定します。上ボタン、下ボタンで縦方向の大きさを、左ボタン、右ボタンで横方向の大きさを調節します。設定したら、設定ボタンを押します。

STEP7

カーソルを「SET」に合わせ、設定ボタンを押します。
→ゾーンが設定され、ゾーン番号選択画面に戻ります。

⑬映像を左右反転表示する [MIRROR]

カメラの映像を左右反転表示するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。カメラの設置場所（使用環境）に応じて設定してください。

- ON : カメラの映像を左右反転表示します。
OFF（工場出荷時） : 左右反転表示しません。

⑭レンズの種類を設定する [LENS-DRIVE]

取り付けるレンズに合わせてカメラの駆動方式を設定します。

- DC（工場出荷時） : DC制御方式の自動絞りレンズを使用する場合に設定します。
VIDEO : ビデオ信号方式の自動絞りレンズを使用する場合に設定します。

⑮画揺れを補正する [STABILIZER]

カメラレンズの画揺れ補正を行うかどうかを「ON」 / 「OFF」で設定します。カメラを電柱やポールに設置した場合などに有効な機能です。

ON : 画揺れを軽減します。
OFF (工場出荷時) : 画揺れ補正を行いません。

重要

- 「ON」に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。「ON」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角、解像度を確認してください。
 - 以下の被写体に対しては、画揺れ補正が効かない場合があります。
 - ・ 暗い被写体
 - ・ 明暗差のない被写体 (白い壁など)
 - ・ 機械的振動などの速い周期の画揺れ
 - ・ 振幅の大きい画揺れ
-

バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS]

バックフォーカスの調節方法の設定と微調節を行います。トップ画面から「BACK-FOCUS SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは21、22ページをお読みください。バックフォーカスを調節する前にレンズの調節を先に行ってください（☞13ページ）。

<バックフォーカス調節について>

レンズから撮像焦点までの距離を変えることにより、バックフォーカスの調節を行います。

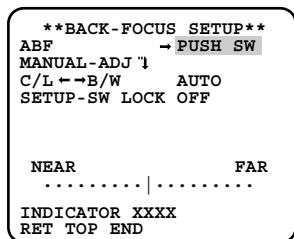
重要

- オートバックフォーカスは設置時のバックフォーカス調節および設置後のカラー／白黒切替時のフォーカス補正用です。オートフォーカス機能のような連続動作を想定した機能ではありません。
- レンズおよび設置環境の経年変化や周囲の温度変化などによってフォーカスずれが生じた場合、再度バックフォーカスの調節が必要です。

メモ

バックフォーカスの調節は、操作ボタン（☞18ページ）を使って行うこともできます。

「BACK-FOCUS SETUP」画面



メモ

- 「ABF」は「SENS UP」が「OFF」「X2 AUTO」「X2 FIX」の設定時に使用できます。
- 「C/L ↔ B/W」の「AUTO」は「SENS UP」が「OFF」「X2 AUTO」「X2 FIX」の設定時に使用できます。

STEP1

「ABF」の「PUSH SW」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
→ オートバックフォーカスが働き、画面の中心領域の被写体に自動でバックフォーカスを調節します。

STEP2

バックフォーカスを微調節したい場合は、「MANUAL-ADJ」にカーソルを合わせ設定ボタンを押した後、左ボタンまたは右ボタンを押すと、バックフォーカスを手動で調節できます。

(次ページへ続く)

バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS] (つづき)

メモ

- 左ボタンと右ボタンを同時に押すと、バックフォーカス位置はCSマウントの標準位置になりません。
- 「INDICATOR」の数値はバックフォーカスを調節するときの目安です。数値が大きいほど、シャープな映像になります。

STEP3

「C/L↔B/W」にカーソルを合わせ、バックフォーカスの調節方法を以下から設定します。

AUTO (工場出荷時)

：カラー映像と白黒映像の切り替え時、自動的にバックフォーカスを調節し、フォーカスずれを補正します。

PRESET：カラー映像と白黒映像の切り替え時、それぞれ設定したバックフォーカスの位置にプリセット移動します。プリセット位置はカラー映像や白黒映像で、最後に設定したバックフォーカスの位置が自動的に記憶されます。

FIX：自動 (ABF) または手動でバックフォーカスを調節後、位置を固定します。

STEP4

「SETUP-SW LOCK」にカーソルを合わせ「ON」に設定すると、操作ボタンでバックフォーカスを調節 (18ページ) できなくするよう設定できます。

重要

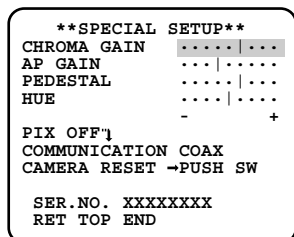
- 被写体によってバックフォーカスを以下のように設定してください。

こんなときは (被写体条件)	こうしましょう (推奨設定)	
	バックフォーカス調節	「C/L↔B/W」切替設定
・ 標準的な被写体	「ABF」	「AUTO」
・ 動きが多い	「ABF」後に	「PRESET」または
・ 照度変化が大きい	「MANUAL-ADJ」で	「FIX」
・ 低照度	微調整または	
・ 極端に明るかったり反射する	「MANUAL-ADJ」	
・ 窓越し		
・ レンズが汚れやすい場所		
・ 白壁など明暗が少ない		
・ 深い奥行きを持つ		
・ ちらつきが激しい		
・ シャッターのような平行した横方向線のみ		

- 弊社はバックフォーカス機能の諸設定、あるいはその結果で被る不便、損害、被害に関して一切の責任を負わないものとします。

特別メニューの設定を行う [SPECIAL]

カメラの画質に関する設定やレシーバーを使用する際の通信の設定など、特別メニューの設定を行います。トップ画面から「SPECIAL SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは21、22ページをお読みください。



クロマレベル（色の濃さ）を調節する [CHROMA GAIN]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色の濃さを調節します。「+」方向に動かすと色が濃くなり、「-」方向に動かすと色が薄くなります。調節はベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら調節します。

アパーチャーレベルを調節する [AP GAIN]

左ボタンまたは右ボタンを押して、画質を調節します。「+」方向に動かすとシャープな映像に、「-」方向に動かすとソフトな映像になります。調節はカラービデオモニターを見ながら調節します。

メモ

絨毯やカーテンなどの細かい模様を撮影すると、モアレ（干渉縞）が出ることがあります。その場合、「-」方向に動かすと緩和されます。

ペDESTALレベル（明るさ）を調節する [PEDESTAL]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の明るさを調節します。「+」方向に動かすと明るい映像に、「-」方向に動かすと暗い映像になります。調節は波形モニターかカラービデオモニターを見ながら調節します。

クロマ位相レベル (色合い) を調節する [HUE]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色合いを調節します。調節はベクトル色度指示器やカラービデオモニターを見ながら調節します。

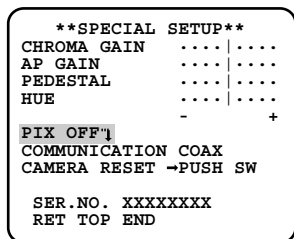
メモ

「CHROMA GAIN」「AP GAIN」「PEDESTAL」「HUE」の設定値は左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押すと、工場出荷値に戻ります。

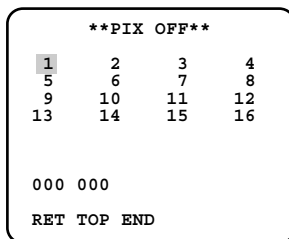
傷を補正する [PIX OFF]

カメラ映像内の傷を補正します。16カ所まで補正できます。以下の手順に従って操作します。

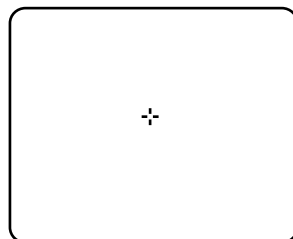
「SPECIAL SETUP」画面



「PIX OFF」画面



傷補正位置設定画面



STEP1

「PIX OFF」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「PIX OFF」画面が表示されます。

STEP2

傷補正位置を登録する番号 (1~16) を選択し、設定ボタンを押します。

→ 傷補正位置設定画面が表示されます。

STEP3

上/下/左/右ボタンを押して、補正したい傷の中心位置に十字カーソルを移動し、設定ボタンを押します。

→ 傷が補正され、傷補正位置が登録されます。「PIX OFF」画面に戻ります。登録されると、数字の右に「*」印が表示されます。座標が数字で表示されます。

メモ

- 登録した傷補正位置を消去する場合は、「PIX OFF」画面で消去したい傷補正位置が登録されている番号にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。傷補正位置設定画面が表示され、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。「PIX OFF」画面に戻り、傷補正位置が消去され、数字右の「*」印が消えます。
- ビデオ信号方式の自動絞りレンズを使用している場合は、画面を暗くしてから、補正を行ってください。

通信設定を行う【COMMUNICATION】

レシーバーを使用したシステム構成で本機を使用する場合、必要な通信設定を行います。

COAX (RCV) : 弊社レシーバー (WV-RC100、WV-RC150) を使用するときはこの設定にします。

COAX (工場出荷時) : レシーバーを使用しないときこの設定にします。

工場出荷時の設定内容に戻す【CAMERA RESET】

SETUPメニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻します。

カーソルを「CAMERA RESET」の「PUSH SW」に合わせ、左ボタン+設定ボタン+右ボタン同時に約2秒間押し続けると、設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

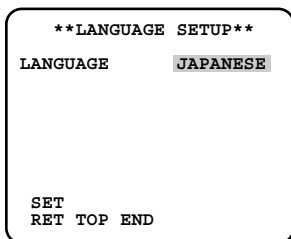
シリアルナンバーを確認する【SER.NO.】

本機のシリアルナンバーが表示されます。

言語を設定する [LANGUAGE]

SETUPメニューの言語を以下から設定します。トップ画面から「LANGUAGE SETUP」画面を表示して設定を行います。

JAPANESE (日本語) (工場出荷時) / ENGLISH (英語) / FRANÇAIS (フランス語) / ESPAÑOL (スペイン語) / DEUTSCH (ドイツ語) / ITALIANO (イタリア語) / РУССКИЙ (ロシア語) / CHINESE (中国語)



言語を切り替える場合は、左ボタンまたは右ボタンで言語を選択した後、「SET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押してください。

メモ

- 言語を切り替えた場合、設定されているカメラタイトルはクリアされます。
- カメラタイトルは、日本語設定の場合のみカタカナを入力できます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
映像が表示されない	●電源ケーブル／同軸ケーブルが正しく接続されていますか？ →接続されているか確認してください。	16
	●モニター輝度の調節、コントラスト調節は正しくされていますか？ →設定を確認してください。	47
	●レンズキャップは外しましたか？ →確認してください。	—
映像がぼやける	●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ →カメラのレンズを確認してください。	—
	●フォーカスは正しく調節されていますか？ →フォーカス調節を確認してください。	45

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
電源コードの被ふくが傷んでいる	<ul style="list-style-type: none">●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態で使用続けると感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に修理を依頼してください。	—
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ゆるくなったりする		

仕様

電源	WV-CP480	AC 100 V 50 Hz/60 Hz 4.3 W
	WV-CP484	AC 24 V 50 Hz/60 Hz 4.3 WまたはDC12 V 330 mA
撮像素子		1/3型 インターライン転送方式CCD
有効画素数		768 (H) × 494 (V)
走査面積		4.8 mm (H) × 3.6 mm (V)
走査方式		2 : 1インターレース
走査周波数		水平 : 15.734 kHz 垂直 : 59.94 Hz
同期方式		内部同期 (INT) ,電源同期 (LL) ,外部同期 (VBS/VS) , 多重VD同期 (VD2)
解像度		水平 : 570本以上 (白黒モード)、540本typ.、520本以 上 (カラーモード、RESOLUTION : HIGH時) 垂直 : 350本以上 (中心部)
最低照度		白黒モード時 : 0.08 lx (F1.4)、0.06 lx (F1.2) カラーモード時 : 0.6 lx (F1.4)、0.5 lx (F1.2)
S/N		50 dB (AGC OFF時)
ダイナミックレンジ		52 dB typ.
映像出力		VBS 1.0 V[P-P]/75 Ω, コンポジット信号, BNCコネク ター
外部同期入力		VBS/VSコンポジット 1.0 V[P-P]/75 Ω, BNCコネク ター
レンズマウント		CSマウント (Cマウントアダプター付属)
ALC駆動		DC駆動/VIDEO 駆動切り替え
機能	カメラタイトル	最大16文字表示 (アルファベット,カタカナ,数字,記号)
	光量制御	ALC/ELC
	SUPER-D	ON/OFF
	電子シャッター	OFF (1/60)、1/100、1/250、1/500、 1/1 000、1/2 000、1/4 000、1/10 000
	AGC	ON (HIGH/MID/LOW) /OFF
	電子感度アップ	OFF,X2 AUTO,X4 AUTO,X6 AUTO,X10 AUTO , X2 FIX,X4 FIX,X6 FIX,X10 FIX,X16 FIX,X32 FIX
	同期方式	INT (内部同期)、VD2,VS*,VBS*自動切替 LL* (電源同期 : 60 Hz地域専用) ※位相調節可能
	ホワイトバランス	ATW1/ATW2/AWC
	モーションディテクター	MODE1/MODE2/OFF
	DNR	LOW/HIGH
	解像度	NORMAL/HIGH
	カラー/白黒切替	AUTO1/AUTO2/EXT/ON/OFF
	プライバシーゾーン	ON (1/2) /OFF
	左右反転	ON/OFF
	レンズドライブ	DC/VIDEO
	画揺れ補正	ON/OFF
	バックフォーカス	ABF/MANUAL/カラー白黒切替連動設定

仕様 (つづき)

使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃
使用湿度範囲	90%以下
寸法 WV-CP480	幅 70 mm 高さ 65 mm 奥行き 129 mm (接続端子含まず)
WV-CP484	幅 67 mm 高さ 65 mm 奥行き 100 mm (接続端子含まず)
質量	WV-CP480 約520 g (電源ケーブル含まず) WV-CP484 約400 g
仕上げ	ライトエフェクトブルーメタリック/ライトFLシルバー

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品の、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

51、52ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

保証とアフターサービス（つづき）

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	カラーテレビカメラ
品番	WV-CP480,WV-CP484
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	WV-CP480,CP484
販売店名	電話（ ） —		

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話 フリーダイヤル 0120-878-410

3TR003295DAA
N1004-3026